

## 菅原 麻衣さん

Mai Sugahara

客室乗務員



1985年、愛媛県松山市生まれ。同県立松山西高校から、実践女子短期大学英語コミュニケーション学科観光・文化コース。現在、日本航空客室乗務員として、主に羽田空港発着の国際線を担当している



# 子どもの頃の夢を実現 心ゆく機内サービスを

子どもの頃、アメリカにいた叔父に会ったため、家族で日本航空の飛行機に乗りました。機内での客室乗務員の仕事や接客に感動し、小学校の卒業文集に「将来は客室乗務員になりたい」と書きました。

高校卒業後は、そうした夢も実現できる実践女子短期大学（現・実践女子大学短期大学部）に入学。観光学が専門の武内一良先生には、世界に目を向けるきっかけを作っていただけ、ビジネス英会話の講義やホテルでのインターンシップもありました。

新卒時にはホテル業界に興味を持ち、カナダでの短期留学を経て、海外からのお客様も

多い大手ホテルに就職しました。このホテルで接客を担当するうち、海外のお客様と日本との懸け橋となる客室乗務員になりたいと思うようになりました。そして、5年後に日本航空に入社。現在、国際線のファーストクラスでの仕事も担当しています。国内外のVIPも訪れたホテル時代に培った接客サービスが、今の仕事に役立っています。

乗務で大切にしているのは、クルーのチームワークによる旅の安全と、心ゆくおもてなし。「また日本航空に乗りたい」「菅原のサービスを受けたい」とお客様に言っていたいただけるようになりたいと思っています。



携帯端末でフライト前のチェックをする菅原さん。ホテル時代の常顧客と、機内でばったり会うことも



男女共同参画推進担当理事  
短期大学部長

高瀬真理子教授

航空業界には、本学からも多くの卒業生を輩出してきました。現在では、いっそう正社員での入社が難しい業界です。客室乗務員は豊かな教養と人間性を要する上に、国際的なコミュニケーション力が必要ですが、女子学生には非常に人気の、魅力ある職種です。「なりたい」という志のあるところに夢は実現します。実践女子大学・同短期大学部は、学生たちひとりひとりの志を応援します。